



学年通信

10月

2年生

10月の別名として「神無月」という呼び方がありますが、神無月(かんなづき、かみなしづき)とは、陰暦(旧暦)10月を意味し、陽暦(新暦)10月の和風月名です。その語源は「神様がいない月」だから?

諸説ありますが由来を解説し、八百万の神々が出雲大社に集う理由を紹介します。

「そもそもなぜ神様は“出雲”に集まるのか」という理由については、縁組み・酒造り・奉公・里帰りなどさまざまな説があるのですが、以下の説がもっとも一般的とされています。

大地を象徴する大国主大神(おおくにぬしのおおかみ)には沢山の子供があり、大国主大神は子供たちを全国各地に置いて国を管理させました。そして、子供たちは年に一度だけ出雲大社に戻り、父や皆に

その年の報告や来年の相談をします。やがて、他の神様も一緒に出雲に集まるようになりました。



甲子園への遺言

甲子園への遺言というタイトルの本の中で、いかにして元プロ野球選手が人生を賭け、プロ野球選手になろうとしたか、そのとき必要と感じたものは、何かを書いた内容の抜粋です。

(豊かな人生を過ごすには)というテーマで講演をおこなっている。

聴衆は、体育館に集まった同中学の3年生、155人。高畠は、14~15歳の多感で好奇心旺盛な子供たちを前にこう語りかけている。平成15年6月26日、高畠は、太宰府市立太宰府中学校で、「君たち、豊かな人生をおくるにはどうしたらいいんだろう。決して金銭的に、あるいは物質的に恵まれるという意味ではなく、本当の意味での豊かな人生をおくるのはどうしたらいいと思いますか」「私は、プロ野球の世界で35年間も暮らしてきました。最初の5年間は選手として、そしてあの30年は、コーチとして過ごしてきました。

そこで沢山の選手たちと出会い、ともに闘い、一緒に汗や涙を流してきました。そのなかで、伸びる選手には共通のものがあることに気がつきました。そして、それはプロ野球の選手に限らず、一般の人も同じだと言うことがわかつてきたのです」こう語り始めた高畠は、渾身の努力を払い、極限の精進をへて、一流の選手になつていった選手たちの話を具体的にしていった。そして、プロ野球で、さらに人生そのもので大切な伸びる人の共通点を、七つ挙げた。

一、素直であること。

二、好奇心旺盛であること。

三、忍耐力があり、あきらめないこと。

四、準備を怠らないこと。

五、几帳面であること。

六、気配りができること。

七、夢を持ち、目標を高く設定することができる。



勝負の世界に生きる人間にとつて、それは、どれが欠けても“一流”にはなれない必須ともいべき条件の数々である。この七つの条件がなぜ必要なのか、それぞれに具体的なエピソードを交えた話に、生徒たちは引き込まれていった。高畠はさらに、自分の生い立ちや苦労してプロの道を選んだ打ち明け話も入れながら、「豊かな人生」というものを生徒たちに語つたのである。

甲子園への遺言 門田隆将 講談社より抜粋

中間テスト

令和4年度 10月行事予定表

日	曜	学 校 行 事	給 食	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限
1	土								
2	日								
3	月	ALT ↓ ○							
4	火	○							
5	水	○							
6	木	校外学習 ×							
7	金	校外学習予備日 ALT ↑ × 振込書配布	金1	金2	金3	金4	金5	総合	
8	土								
9	日	連絡事項							
10	月	スポーツの日							
11	火	○							
12	水	中間テスト発表・後期 係・委員決め ○							
13	木	○							
14	金	○							
15	土								
16	日								
17	月	○							
18	火	いじめなくそうデー ○							
19	水	中間テスト ×							
20	木	中間テスト ×							
21	金	○							
22	土								
23	日								
24	月	○ 献立配布	月1	月2	月3	月4	月5	月6	
25	火	後期専門委員会スタート ○							
26	水	研究授業(3-2)その他の生徒は下校 ○							
27	木	○							
28	金	地区懇談会 TRICK OR TREAT ○							
29	土	○							
30	日	○							
31	月	研究授業(1-1)その他の生徒は下校 ○	月3	月4	月5	月6	研究	授業	

11月行事予定

2日 避難訓練 11日 文化祭

16日 マラソン大会 22日~25日 期末テスト

氣力こそ人生の原動力

達成感をやってみる

運は自ら開け

力は反復によって養われる

何か一つモノにせよ



↑右上の文書は少し読む量が多くなっていますが、最後まで読んでいただければきっと何かで役に立てると思います。よろしくお願いします

